

# 北薩感染症情報

2026年第2週(1月5日～1月11日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール [kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp)

## 川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中    ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル		注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
		定点報告数												
急性呼吸器感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	—	88	189	63.00	↗	—	67	121	60.50	↗	—
	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	46	104	34.67	↗	◎	40	58	29.00	↗	◎
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	—	1	—	—	↓	—	1	1	0.50	→	—
小児科定点	RS	—	—	—	1	2	1.00	↗	—	1	1	1.00	→	—
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—	—	6	3.00	↗	◎	—	—	—	→	—
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—	—	2	1.00	↗	—	1	8	8.00	↗	—
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—	—	13	6.50	↗	—	2	7	7.00	↗	—
	水痘	2.0	1.0	1.0	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	手足口病	5.0	2.0	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—	2	3	1.50	↗	◎	1	9	9.00	↗	◎
	突発性発疹	—	—	—	—	1	0.50	↗	—	—	—	—	→	—
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—	—	3	3.00	↗	—	—	—	—	→	—
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
指定医療機関からの インフルエンザ入院報告		—	—	—	—	—	—	→	—	3	7	—	↗	—
指定医療機関からの COVID-19入院報告		—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
報告数合計		—	—	—	138	323	—	↗	—	116	212	—	↗	—

### <注意報・警報レベル>

- ・川薩保健所管内 伝染性紅斑, インフルエンザ, 咽頭結膜熱(警報レベル)
- ・出水保健所管内 伝染性紅斑, インフルエンザ(警報レベル)

### <全数報告>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

### <インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

疾病別各保健所定点当たり報告 直近10w分(男女合計)

 警報発令中  注意報発令中

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				45W	46W	47W	48W	49W	50W	51W	52W	1W	2W
急性呼吸器感 染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	96.33	74.33	84.67	85.33	122.33	155.33	105.00	102.33	29.33	63.00
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	7.00	26.67	23.67	41.00	120.00	173.33	101.33	63.33	15.33	34.67
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	4.00	4.00	2.67	2.33	1.00	1.00	—	—	0.33	—
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	—	—	4.50	4.00	1.50	1.50	2.50	4.50	0.50	1.00
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	0.50	0.50	2.00	0.50	1.00	0.50	0.50	0.50	—	3.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	1.00	3.00	1.50	0.50	3.00	0.50	1.50	3.00	—	1.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	1.50	4.00	3.50	4.50	3.00	4.50	1.00	4.50	—	6.50
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	0.50	—	—	—	—	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	0.50	—	—	—	—	—	—	—
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	4.50	5.00	5.50	4.50	8.00	5.50	1.50	3.00	1.00	1.50
	突発性発疹	—	—	—	1.00	1.00	—	0.50	—	—	—	—	0.50
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	1.00	0.50	—	—	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	—	2.00	2.00	1.00	2.00	3.00	9.00	3.00	—	3.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

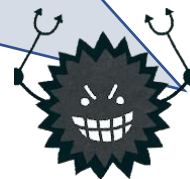
定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				45W	46W	47W	48W	49W	50W	51W	52W	1W	2W
急性呼吸器感 染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	64.50	57.50	63.50	60.00	85.00	84.00	118.00	68.00	33.50	60.50
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	4.50	2.00	5.50	18.50	35.50	53.00	77.50	37.00	20.00	29.00
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	2.00	1.00	0.50	1.50	—	—	1.50	1.00	0.50	0.50
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	1.00	4.00	2.00	1.00	—	3.00	4.00	4.00	1.00	1.00
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	3.00	—	—	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	10.00	1.00	5.00	4.00	5.00	10.00	2.00	7.00	1.00	8.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	—	—	—	3.00	1.00	—	—	—	2.00	7.00
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	1.00	—	—	1.00	5.00	3.00	5.00	3.00	1.00	9.00
	突発性発疹	—	—	1.00	—	—	2.00	—	—	1.00	—	—	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第2週は、川薩保健所、出水保健所管内で伝染性紅斑、インフルエンザの警報レベルが継続中です。また、川薩保健所管内では、咽頭結膜熱の警報が発令されました。

手指消毒用アルコールは、インフルエンザには効果的ですが、伝染性紅斑と咽頭結膜熱の病原体には効果が低いため、石鹸と流水による手洗いを行いましょう。

川薩保健所及び出水保健所管内で  
インフルエンザの流行発生警報が継続して  
発令されています。

## インフルエンザとは



インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。併せて風邪と同じように、のどの痛み、鼻水、咳等の症状も見られます。子どもではまれに急性脳症を、高齢者の方や免疫力の低下している方では細菌による肺炎を伴う等、重症になることがあります。

## 予防について

①流行前のワクチン接種

②外出後の手洗い等

→流水・石鹸による物理的除去

アルコール製剤による手指衛生

③適度な湿度の保持

→空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。適切な湿度(50%～60%)を保つことも効果的です。

④十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

⑤人混みや繁華街への外出を控える

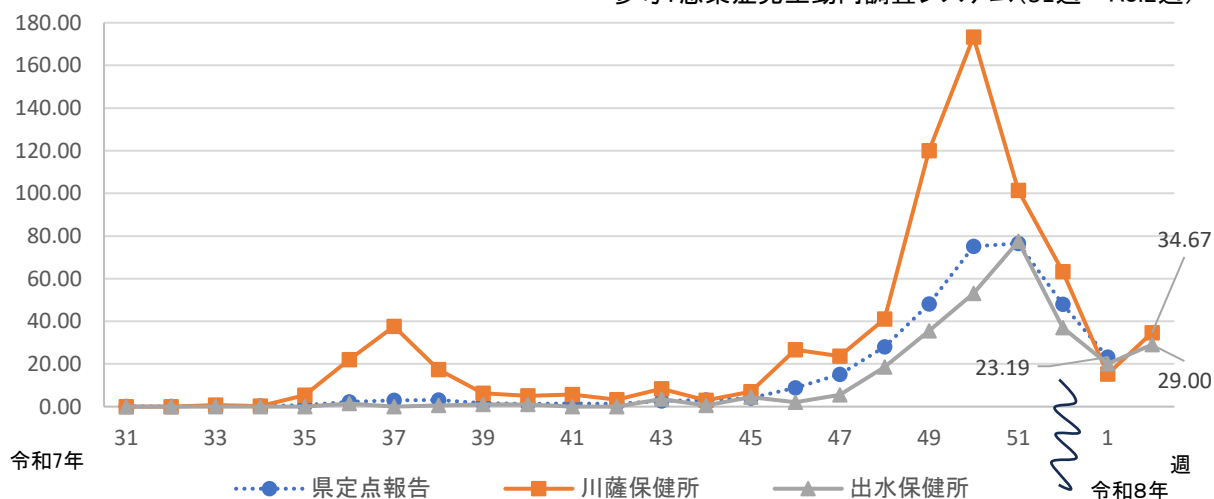
⑥室内ではこまめに換気をする

→対角線上にあるドアや窓を2か所開放すると効果的です。



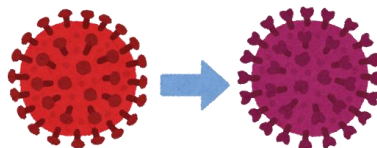
定点あたり報告数(人/定点)

参考: 感染症発生動向調査システム(31週～R8.2週)



## インフルエンザウイルス サブクレードKについて

### サブクレードとは



インフルエンザウイルスは、「型(A・B型)→亜型(H1N1・H3N2など)→クレード(系統群)」と分類されるが、さらにその下に「サブクレード(subclade)」という遺伝子変異により異なるグループを示す細分類があります。

この「サブクレード(subclade)」には、J.2, J.2.4, K(J.2.4.1)等があり、季節性インフルエンザウイルスの変異の積み重ねによるものです。

### サブクレードKの発生状況について

2025年夏以降、国内外において、インフルエンザウイルスA/H3N2(subclade K)が確認されています。このウイルスは、これまでのウイルスと比較し、感染が拡大するスピードが早いものの、症状や重症度は従来の季節性インフルエンザと大きく変わらないものと想定されています。



### ワクチン・治療薬の有効性

- ・本年の不活化インフルエンザHAワクチンに、インフルエンザウイルスA/H3N2株は含まれています。
- ・実際に、流行しているインフルエンザウイルス流行株とワクチン株に、抗原性(免疫の反応性の程度)に違いがあったとしても、一定程度の有効性が保たれるとする報告もあります。
- ・通常の抗インフルエンザウイルス薬が有効であると想定されています。

### 予防・感染対策

基本的な感染対策は同様であり、こまめな手洗いやマスクの着用を含む咳エチケットが重要です。また、ワクチン接種による予防も有効です。



# みんなで予防 インフルエンザ

マメな手洗いと咳エチケットで  
「かからない」、「うつさない」。

- 室内では、適度な湿度を保ちましょう。また、こまめに換気をしましょう。
- 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。

## 咳エチケット

マスク、  
ティッシュ・ハンカチ、  
そでなどで鼻と口を  
おおいましょう。



マメゾウくん



© 鹿児島県ぐりぶー

## アルコール製剤による 手指衛生

インフルエンザウイルスに効果があります。



コマメちゃん

## 手洗い

指先、指の間、親指、手首は  
特に注意して手洗いをしましょう。





## 川薩保健所管内で咽頭結膜熱の 流行発生警報が発令されました。

- ・飛沫感染
- ・接触感染

### 咽頭結膜熱(プール熱)とは

咽頭結膜熱はアデノウイルスを病原体とする感染症です。主な感染経路は飛沫感染や接触感染です。

アデノウイルス自体は年間を通じて報告されていますが、咽頭結膜熱としては特に夏期(6月から8月)に流行がみられ、5歳以下の小児で多く報告されています。

### 症状

潜伏期間は5日から7日程度であり、発熱、頭痛、全身倦怠感とともに咽頭痛、結膜充血などを主症状とします。新生児では全身性感染を起こし、重症化することがあります。

### 予防法

患者との密接な接触を避け、流行時にうがいや手洗いを行いましょう。消毒用アルコールの効果は弱いことが知られています。

### 法的位置づけ

感染症法では五類感染症の定点把握対象疾患に定められています。  
学校保健安全法では第二種感染症に定められており、主要症状が消退した後2日を経過するまで出席停止とされています。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。



### 『プール熱』の由来

かつてはプール利用時の接触やタオルの貸し借り等で流行することがあったため、この病名がつけました。

※現在はタオル共用の減少等の理由より、プール利用における集団感染の報告は見られなくなっています。

参考資料

咽頭結膜熱 | 国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト  
咽頭結膜熱 | 厚生労働省 (mhlw.go.jp)